

驚異的に低い、日本の死亡率

2020/4/15 徒然日記の記事から
主要国における人口1万人あたりの
死亡数

国名	1万人当たり死亡者数
スペイン	3.90
ベルギー	3.60
イタリア	3.50
フランス	2.50
英国	1.83
スイス	1.38
スウェーデン	1.00
米国	0.78
デンマーク	0.52
オーストリア	0.43
ドイツ	0.42
ドイツ	0.42
韓国	0.04
日本	0.01

韓国の与党圧勝を受けて TV では、韓国の PCR を数多く実施した防疫が大成功と言っていました。検査で陽性になる人が多いので、陽性者の中で死亡率を計算すると非常に良い数値になります。日本は陽性の可能性が高い人を中心に調べているので、陽性者の中での死亡率は韓国より高くなっています。ただし、左の表を見てください。人口1万人当たりの死亡者数はこの表の中では際だって日本が低い値を示しています。実にスペインの390分の1という値です。スペインよりも早くに感染者が見つかり、中国からの観光客も多数訪れていたにもかかわらず、今の水準をなんとか保っているのは、国民の衛生観念の高さだけでなく、医療関係者をはじめとする医療・保健関係者の大変な努力のたまものです。

ただし、今は何とか保っていますが、徐々に感染者は増えており、大丈夫ではありません。死者を増やさないためにも、今は徹底的な感染予防が必要です。多くの企業で、苦しいでしょうが休業等の措置をして、集中的にウイルスを押さえ込む必要があります。

その際、PCR 検査の欠点は明らかで、調べれば調べるほど擬陽性の人を増やすほど、正確さに欠ける検査です。10人の本当の感染者の4人からせいぜい7人くらいしか陽性とならず、6から3人が取りこぼされ、感染していない人の10%くらいが誤って陽性と判断されるそうです。何にもない1万人を調べて1000人の陽性が出る検査をばんばん実施したらどうなるか、だれでも分かるでしょう。それより、CT スキャンで肺炎の部位を調べた方が COVID19 と特定しやすい(普通の肺炎は気管支肺炎が多く、COVID19 では肺胞肺炎が多い)という記事も出ていました。CT スキャンの普及率は日本では高く、それで、怪しい人について確かめのためにこれまでは精度の低い PCR 検査をしてきました。幸い、最近長崎大学とキャノンで開発された抗体検査の精度が高く、その普及を期待したいところです。

死亡者数が少ないことが良い状態と言えると思います。厚労省などについても色々批判されていますが、これまで頑張っていると思います。迷わずに、今できることを丁寧にすることが大事だと思います。

(2020/4/17 文責 久田信行)